

西播医療安全ニュース

2022年10月（第41号）発行
兵庫県看護協会ホームページ掲載中

医療安全研修会（WEB開催）報告

テーマ：やりがいあるよ 医療安全！ ～活動を推進する要素って何～
（医療安全活動を促進する因子）

日時：令和4年9月3日（土） 13時30分～16時30分

講師：医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室 室長 新村 美佐香先生



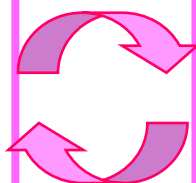
今回の研修は、コロナ拡大の状況下であったため、急遽ハイブリッド型からオンライン研修のみに変更しました。受講者56名のうち、約3分の2が他支部からの受講で、県外からの受講者もあり、関心の高いテーマであったと思います。また、今回の受講者の方は院内や部署内の医療安全委員のスタッフの方の参加が半数以上であり研修テーマである「医療安全活動を進めていくうえで大切なこと」を現場で活かしたいという思いが強く表

れていたように感じました。前年度に続き、新村先生から医療安全の基本的な考え方、感性を高めるKYTと環境を整える5S活動について、医療安全を有効に進めていくためのツールとしてわかりやすく講義していただきました。

アンケート結果から研修に対しての充足は高く、アンケートの自由記載でも、「理論を具体的例で示されていたので理解しやすく、他スタッフにも伝達しやすい。」「とても分かりやすい講義で、病棟内で共有し、リスクマネジメントをして行きたいと思う。」「スタッフの意識を変えていくために役立てたい。」等々、それぞれの受講者が自施設で活動を実行する後押しをしてもらえた研修になったと思います。

KYT

危険(kiken)
予知(yofi)
トレーニング (Training)



5S活動

整理	整顿	清掃	清潔	躰
----	----	----	----	---

【研修会後のQ & A】

Q1 確認不足の事例のヒヤリングをすると、ほぼ「多忙」が上がります。

多忙を改善するのは難しいので対策に悩みます。

- ▶ 多忙な状況は理解できますが、もし、あなたの大切な人が亡くなっても「忙しくて」という理由で許せますか？ 何のためにそれをやるのか、最後の砦の場面で、どうやったらできるのかを考えるよう繰り返し伝えることが大切です。

Q2 K Y Tと5 Sと一緒に進めるのがよい理由を教えてください。

- ▶ K Y Tでリスク感性は高められますが、環境を整えることで、より、リスクに気づきやすくなるということです。

Q3 インシデントアクシデントレポートを、職員が書きやすいようにとチェック方式で用紙を作成しようと思いましたが、当てはまらない項目もあり、現在記述式の用紙を使用しています。レポートが書きやすく、わかりやすいものにするための工夫、参考になる様式などありましたら教えてください。

- ▶ 全てを網羅するものは難しいと思うので、過去のデータから多い項目を抽出して、項目を設定してみてください。それに当てはまらないものはその他にチェックしてもらって内容を書いてもらうということになると思います。その他が多くなるのであればまたそこからピックアップして項目を見直すようにしてみてください。それから何が起きたかについて記載できるのであれば簡単に出来事だけ記載してもらおうようにしてください。例えば・・・ 誤薬だとしたら Aさんのお薬をBさんに飲ませた。という感じです。

「以後気を付けます。」とか、「注意するように指導しました。」とか、「間違えてしまいましたすみません。」という内容は書かなくても良いことを伝えてください。レポートを提出しやすくするためには、書式も含めどうすればよいか、現場の意見を吸い上げながらその施設に合った報告方法を考えていけばよいと思います。

弁護士との事例検討会

参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

奇数月第3火曜日 16時30分～18時00分 姫路商工会議所（参加無料）

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：赤穂市民病院 松下佐智子

電話：0791-43-3222 FAX：0791-43-0351

e-mail：kango1090@amh.ako.hyogo.jp

※コロナ禍のため開催が中止になることもあります。